

戦争論 3冊

このゴーマニズム・シリーズは、色々な分野で発行されています(ゴーマニズムと検索すれば、たくさん紹介されています)が、ここでは「戦争論」に注目します。漫画本になっていますから、私のような本嫌いでも簡単に読めます。しかし、なかなか「取材・構成、結論の導き方」など歯ごたえのあるものです。それでいて「そ、そ、そうか、なるほど」と大変面白く読みました。少々古い本なのでご存知の方も少なくありません。そういう意味では、ある程度評価は固まったものといえます。



「ゴーマニズム宣言」戦争論

著者: 小林よしのり
第 1刷発行 1998年7月10日
第41刷発行 2003年4月 1日

幻冬舎
ISBN4-87728-243-2 1,500円

戦争の時代なんて、そんなに簡単にわかるはずはない。その1つの答えは、その時代の認識不足・知識不足から来るものです。ここで、3冊を読み終える頃には少し判った気になります。私にとって、ここに書かれていることは、父から聞いた事がところどころ含まれていて、断片の知識を埋めてくれる、つじつまの合うものでした。だから、大きな違和感はありません。ただ、何でも「鵜呑み」にするのはよくありません。どのような歴史図書も「疑って読む」必要があります。それでは、何のために紹介するかと問われれば、戦争を考える時のたたき台として、広い視野、鋭い視点、十分な社会的価値を持っている図書だと思えるからです。



「ゴーマニズム宣言」戦争論2

著者: 小林よしのり
第 1刷発行 2001年11月15日
第 9刷発行 2006年 6月 30日

幻冬舎
ISBN4-344-00131-1 1,900円

「大きな戦争の背景」だけではありません。多角的に戦争に至るプロセスや人々の心理、抱える時代背景を鋭くえぐっています。さらに、その根拠を明示して透明性を上げています。また、1つ1つ丁寧に読むと、「ゴーマニズムの痛快さ」とは対極にある、筆者の真の意図が判ってきます。漫画になっていますので、小学生・中学生のみなさんに是非読んでいただきたいと思います。そして、一日も早く、「疑問なし、記憶偏重、思考停止」から抜け出し、独自の考え方を持って人生を歩む、1つのきっかけにしてほしいと思います。



「ゴーマニズム宣言」戦争論3

著者: 小林よしのり
第 1刷発行 2003年7月25日

幻冬舎
ISBN4-344-00356-X 1,600円